

科目名 家族看護学 時間割表記名 家族看護学		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 時間数 15 時間(8 回)	講義担当者 生野 繁子
事前学習内容 1. テキストの該当部分を読んでおくこと。 2. 自分自身の家族の変遷を想起しておくこと。			
授業目標 1. 家族について理解する。 2. 家族を理解するための理論について理解する。 3. 家族看護過程の展開の視点について理解する。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	* 授業ガイダンスと自己紹介		
2	1. 家族看護とは 1)家族看護の必要性 2) 家族看護学の変遷 3)家族看護の特徴と目的 4)ライフサイクルと家族	講義	テキスト① 「はしがき」も読んでおくこと。
	2.家族看護の対象理解 1)家族とは 2)家族構造 3)ジェノグラム 4)エコマップ	講義	テキスト①
3	3. 家族機能と家族内の男女共同参画	講義	テキスト①
4	1)育児・セルフケア・社会的機能 2)現代家族の多様性 3)婚姻制度の変遷と家族内における男女共同参画 4)我が国における男女共同参画の現状 * DVD の感想を共有しよう	DVD 視聴 ディスカッション	男女共同参画関係の資料配布
	4. 家族看護を支える理論 1)家族発達理論 2)家族システム理論 3)家族ストレス対処理論	講義	テキスト
5	5.家族変化をもたらすアセスメント・介入モデルと介入過程	講義	テキスト①
6	1)様々な家族アセスメントモデル 2)カルガリー家族アセスメントモデル 3)アセスメント過程・介入過程		
	6. 家族看護過程展開の視点と実践の理解 * 自分自身と家族をモデルにジェノグラムとエコマップを作成しよう	講義 個人ワーク	テキスト① DV 防止資料配布

7	7.現代家族の課題と家族支援のあり方 1)DV 防止法の概要と現状 2)虐待防止と家族支援	講義	テキスト①
8	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
受講上の注意 毎回、感想カードを提出して下さい。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ① 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 参考文献 内閣府発行「男女共同参画白書」最新版・同ホームページ情報			